

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 9-20

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	公共下水道事業会計繰出金			
評価者	担当課・係名	建設水道課 下水道係		
	課長等	職名	建設水道課長	作成者
		氏名	大場利昭	氏名
				職名
				係長
				氏名
事業の概要	公共下水道事業の普及促進に伴う施設整備資金の償還金について、一般会計からの繰出金を財源とすることにより、事業経営の安定化を図る。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業 <input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業		
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	17	上・下水道の整備	
	単位施策	1	下水道の普及促進	
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	158,380千円	155,600千円	165,700千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	158,380千円	155,600千円	165,700千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民・公共下水道事業経営	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題や二一ズは】	施設整備資金の長期借入金償還に対する自己財源の確保		事業の経営安定化		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	水洗化の促進を図り、有収率向上による収入の増及びコスト削減を図り経営の安定化を目指す。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	事業の経営安定化を図れる。		①一般会計からの繰入金	目標年度	19年度
			目標値	155,600	
			実績値	155,600	
			達成度	100%	
			②	目標年度	年度
				目標値	
				実績値	
				達成度	%
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①経営安定	施設整備資金の長期借入金償還金については、一般会計からの繰出金を財源としており、下水道料金収入については、施設維持管理費の財源にする事により、事業の経営安定化が図られた。				
②					
③					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	施設整備に必要な資金を長期借入金で賄い元利償還しており、これの財源として一般会計からの繰入金が必要であり、一般会計からの繰出金がない場合、施設の維持及び経営安定化に影響を及ぼす。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	下水道料金を施設維持管理に係る財源とし、一般会計からの繰出金を長期借入金の償還財源にすることにより、事業の経営安定化が図られた。
有効／概ね有効／課題あり		

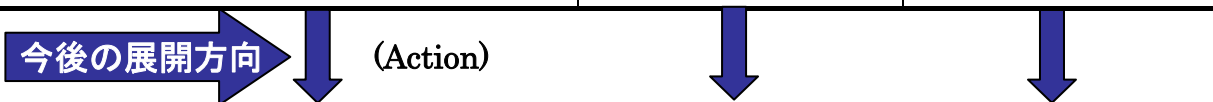
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	業務の一部民間委託等により、経費の削減が出来、また、町からの繰出金により事業の経営が安定化し、公共用水域の水質保全及び住民の快適な居住環境を確保することができた。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A	B	
公共用水域の水質保全及び住民の快適な居住環境を確保するための下水道事業については、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。	繰出金があるということは、経営が健全とは言いがたい。	



継続／現状維持	継続／現状維持	
公共用水域の水質保全や住民の快適な居住環境の確保のために、下水道事業の継続が必要であり、今後の下水道事業に対する経営安定化のため一般会計からの繰出金が必要であるので、現状維持が適当である。	将来的に一般会計からの繰出金が必要なくなるよう、健全経営に心がけること (目標値を0円に設定するなど)。	

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項